

## 南魚沼市パブリックコメント集計表

|     |                    |
|-----|--------------------|
| 案件名 | 第2次南魚沼市子ども読書活動推進計画 |
| 担当  | 教育委員会事務局図書センター     |

### 意見提出人数

|              |    |
|--------------|----|
| 直接持参         | 人  |
| 郵送           | 人  |
| ファックス        | 人  |
| 電子メール        | 人  |
| ウェブサイト入力フォーム | 2人 |
| その他          | 人  |
| 合計           | 2人 |

### 意見等の概要及び意見等に対する実施機関の考え方

| 意見等の概要  | 件数 | 実施機関の考え方（対応）   |
|---|----|--|
| <p>○ボランティアの育成支援について</p> <p>子どもが身近に本にふれあうことができ、それが習慣化し、そして一生の思い出の一冊に出会えることは、子どもの宝物である。そのために施設の充実、親や大人の読書の重要度の認識、ボランティアの充実が必要だ。特に常時いい本が潤沢に子どもの目に留まる楽しい空間の構築、ボランティアの質が肝心だ。</p> <p>読み聞かせは、子どもが自ら本を選んでいけるように読み聞かせる本にテーマ性を持たせて子どもたちと語るべきだと思う。読書とは本を読むことだ。そのガイドができる読み聞かせの充実が読書児童を増やす。</p> <p>市が子どもの読書機会の拡充とその質の充実をテーマに掲げることに賛同するものとして私見を述べた。</p> | 1  | <p>読み聞かせボランティアの方は、地域での子どもの読書活動推進の担い手であると考えます。第3章（5）「ボランティア等の育成・支援」を踏まえて、ボランティアの育成と読み聞かせボランティア・学校図書館ボランティア等が活動しやすい環境の整備に努めてまいります。</p> |

|  |          |   |
|--|----------|---|
| <p>3 ページ 第1章3<br/>誰が策定したのか主語がない。<br/>アンケート実態調査、有識者からの意見徴収、パブリックコメントが策定体制にどのようにかかわっているのか具体的に記載すべきではないか。</p> | <p>1</p> | <p>いただいたご意見を踏まえ、第1章の「3. 計画の策定体制」の本文に文言を追加しました。主語を「図書センターが」とし、説明を加え「教育委員会の議決を経て策定しました」としました。</p>   |
| <p>第2章で整理した課題をどのように踏まえ、「市総合計画」、「市教育基本計画」のほか関連計画と整合性を図り、第3章の取組を定めたのか、全体像が見える参考資料があったほうがよいのではないか。</p>        | <p>1</p> | <p>ご意見を踏まえ、計画末尾に（補足）として「第1次計画と第2次計画対応一覧」を追加しました。</p>  |
| <p>16 ページ 第2章7<br/>SDGsのゴールのうち、なぜ4と17なのか、理由を詳しく説明する必要があるのではないか。</p>  | <p>1</p> | <p>ご意見を踏まえ、第2章の「7. SDGs（持続可能な開発目標）の取組の推進」の本文に、上位計画である第2次南魚沼市教育基本計画を受けてSDGsの目標を設定した旨の説明を加えました。</p>   |
| <p>19 ページ 第3章6 メディア視聴による影響への注意喚起の継続<br/>発達段階によって異なるメディアの規制とメディアの活用との関係性について、具体的に記載する必要があるのではないか。</p>       | <p>1</p> | <p>メディア視聴による影響については、第2章2の中で説明しているとおり、公益社団法人日本小児科医会作成の「スマホに子守りをさせないで」というリーフレットを配布しています。このリーフレットにメディア視聴の影響が記載されています。<br/>影響の詳細については、その科学的根拠を含め、計画本文中への記載は難しいですが、健診や各種子育て教室等にて、関係課と連携しながら保護者や家庭への各発達段階に応じた啓発活動を行ってまいります。</p> |